

一括質問

プレミアム付商品券に関する事業の詳細は

市民を対象に1万円で販売し一人1冊は必ず購入できるように配慮することとしている

手塚としひさ 議員(市友)

新型コロナウイルス感染症拡大により、市内でも売上げに打撃を受けている業種が数多く見受けられる。そこで、コ



▲地元応援商品券「ふちゅうチケ」

たはインターネットによる募集を行い、応募多数の場合は抽選となるが、一人1冊は必ず購入できるように配慮することとしている。

教育におけるコロナ対策について●保育所の現状と今後について

一括質問

感染者の移動手段について市民の目に留まりやすい周知の方法について協議し、府中市医師会と協議し、

結城 亮 議員(市民) 市内の保育施設において、新型コロナウイルスの感染者が発生したと聞かされた後、保育所や学校などで感染者が発生した場合、濃厚接触者とされなくても、市が関係者を選定してPCR検査を受けられるような施策を実施する考えは。

福祉保健部長 施策を検討することについては、濃厚接触者等を対象として、PCR検査を実施しているが、調整すべき事項として、唾液によるPCR検査などの導入

一括質問

内視鏡による胃がん検診についていつまで中止する予定なのか

新型コロナウイルス感染症の収束状況等を確認し、令和3年度の開始時期を検討している

渡辺 将 議員(都民) 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行われていた特定健康診査の項目が少なくなつたと聞かされたが、行われなかった検診項目の内容を聞きたい。

福祉保健部長 令和2年度の特定健康診査の実施については、府中市医師会との協議により、法定項目のみとすることを確認し、各医療機関での診査にかかる滞在時間を短くさせるなど、感染リスクの削減を図るため、市が独自で追加している胸部エックス線検査を中止している。

一括質問

新型コロナウイルス感染症拡大の中聴覚障がい者への本市の対応は

聴覚障害者相談員にはフェイスシールドを着用するよう配慮している

そなえ 邦彦 議員(自由) 新型コロナウイルス感染症拡大の中、一般社団法人が行ったアンケートでは、聴覚障がい者からマスクで声が聞き取りにくい等の意見があったが、本市の対応を聞きたい。

福祉保健部長 聴覚障がい者の方がコミュニケーションを図る場合、相手の口の動きや表情が重要となることから、現在、障害者福祉課で定期的に配置している聴覚障害者相談員には、フェイスシールド

を着用するよう配慮している。

議員 コロナ禍では、電話やメール等による障がい者の相談が増加傾向にあると聞かされたが、電話以外の相談窓口では、どのように対応しているのか。

福祉保健部長 家族など数人で相談に来る場合には、窓口での感染リスクを避けるため、会議室など別の場所に対応しているほか、状況に応じて相談者の自宅に向いて相談支援等を行っている。

他府中市のいわゆる「8050問題」に対する支援について



▲聴覚障害者相談員による窓口対応の様子

一問一答

修学旅行の積立金について企画変更等が発生した場合などには保護者への返還はあるのか

差額が生じる場合があるができる限り保護者に負担がかからないよう検討している

西村 陸 議員(公明) コロナ禍における市立中学校の修学旅行の対応について、実施等の判断の考え方や実施状況は。

教育部長 修学旅行に関する基本的な考え方は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、生徒の安全を最優先して実施の可否等の判断を



▲コロナ禍における中学校の修学旅行の様子

一括質問

都の不燃化特区内での支援制度 同様の制度を市で実施する考えはあるか

財政面での大幅な負担や人的な負担など課題が多岐にわたるものと認識している

稲津 憲護 議員(市友) 都では、老朽化した木造住宅密集地域の火災・延焼の防止対策の一つとして、指定した不燃化特区内において、固定資産税や都市計画税の減免制度を実施している。そこで、市でも防災のまちづくりを推進する意味で、同様の制度は有効であると考えられるか。

都市整備部長 不燃化特区内の減免制度のほか、建築物の除却費等の助成制度もあり、都から防災のまちづくりの推進に一定程度寄与していると

行うことや修学旅行を楽しむにできた生徒の心情に配慮し、代替行事を含め、可能な限り実施を検討することとしている。令和2年9月時点の実施状況は、市内11校のうち1校が9月下旬に実施予定、9校が3学期に延期、1校が中止を決定している。

議員 修学旅行の積立金について、企画変更等が発生した場合などには、保護者への返還はあるのか。

教育部長 費用の返還については、修学旅行を中止したこ

一問一答

毎年実施している行政評価においても外部の視点から政策課が確認することが有効と思うが市の考えは

今後、次期総合計画の策定に合わせ調査・検討を進めていきたい

杉村 康之 議員(自由) 市が行う事務事業評価や施策評価では、それぞれ目指す目標に対して、指標を設定しているが、目標と指標がうまくつながっていないというところが、今の行政評価システムの課題だと思ふ。そこで、設定している目標と指標が一致していない場合、是正する必要があると思うが、政策課では確認していないのか。

政策総務部長 指標の設定と確認については、基本的に担当部課で行っている。また、事務事業評価の指標については設定に疑義がある場合、政策課で指摘を行うこともある。

議員 毎年実施している行政評価においても、外部の視点という意味で、政策課が確認することが有効と思うが、市の考えを聞きたい。

政策総務部長 外部評価の導入については、今後、次期総合計画の策定に合わせ、調査・検討を進めていきたい。

他 新型コロナウイルス対策、都の受入体制を超えてしまった場合、府中市としてどう対応する考えか